

～笑顔が絶えることのない『住まい』であり続けることを願ってお届けします～

住まいる便り

10月号



すべてレジ袋が有料化されました。地球環境のための小さな第一歩です。ここ半年、目にも見えない小さなウイルスが、今まで当たり前だと思っていた世界を変えてしまいました。

また台風や大雨などの被害も各地で続いています。

そんな中でのレジ袋の全面有料化です。

確かに今までもスーパーにはマイバッグを持参していましたが、コンビニや100均、その他のお店ではレジ袋は普通に出してくれていました。それが最近では、服を買ってもパンを買っても、そのまま手渡されるようになりました。そのたびに「あ、そうだった」と気づくことも多いのですが、そのうちに慣れていくと思います。

正直、私たちはどんどん便利になっていく世界の中で、いつのまにか自然との付き合い方を忘れてしまったのかもしれない。小さな一歩でも、大事にしたいですね。

古い和室をおしゃれにするには？

古い和室をおしゃれにしたい。だけどセンス良くできるかな？と不安に思ったら、最初にやるべきことがあります。

まずは当たり前ですが、古い和室は徹底的にお掃除をしましょう。お掃除をすると、その人の気持ちがお部屋にも通じます。その後で、最初に選んでもらいたいのは照明器具です。古い和室の天井は竿天井（板張り）になっているので、日焼けして茶色（こげ茶色）になっているはず。

そのため「照明器具なんて明るければいい！」と思いがちですが、

実はこういう天井だからこそ、ピッタリの照明器具があります。

おすすめなのは、量販店でよく売っている「いかにも！和室用」という照明ではなく、とってもモダンな照明です。

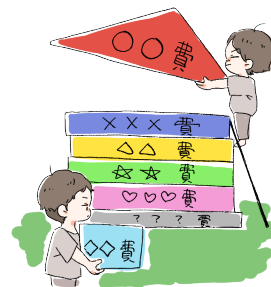
モダンな照明器具は、古い和室と驚くほど相性がいいから不思議です。ただし唯一、気を付けたいことがあります。和室の天井は竿天井なので、洋間の天井のように全体がフラットではありません。

ですから、シーリング照明の場合は、ちゃんと取り付けられるかどうか？竿天井用のアダプターでなんとかなりそうかどうか？まで、ちゃんと確認しておきましょう。もし上記のチェックが面倒ならば、シーリング照明ではなくペンダント照明と置き型照明を組み合わせてもいいかもしれません。分からない場合は、お気軽に弊社にご相談ください。



「資金計画」はお金の設計図

家を建てるには設計図が必要です。そしてマイホーム資金を無駄にしないためには、資金計画が必要です。言ってみれば資金計画はお金の設計図のようなものでしょうか。多くの場合「住宅ローンが借りられる範囲内」「今の家賃と同じくらいの住宅ローン返済額」といったところから資金計画はスタートします。しかし、その前に知っておきたいのが、マイホームには「どのようなお金が必要なのか」という全体像です。土地を購入するには土地購入費、また建物では建築費や外構工事費が必要ですし、建て替えの場合には解体費が必要です。それ以外にも登記費用やローン諸費用、火災保険や固定資産税などの各種税金もかかります。さらに暮らしたてからの、防蟻処理や給湯器の交換、外壁の塗り替えなどのメンテナンス費も頭に入れておくと安心です。マイホームにはさまざまなお金が必要で、しかもそれぞれの状況によって異なるため、信頼できる建築業者と一緒に「マイホームの資金計画」を作ることがおすすめです。



ガスコンロの火がつかない時には?

ガスコンロでよくあるのが点火はするけれど消えてしまう・・・、というトラブルです。点火はするけど消えてしまうのは、ほぼほぼ乾電池の残量が少ないことが原因です。普通は、ガスコンロが点火しないと、ガスに問題があるのでは？そう思ってしまう。でもガスコンロには、ちゃんと乾電池が入っているんです。



これはキッチンやコンロ交換をしたことがある人と、しっかり取扱説明書を読む人だけが知っていることかもしれません。乾電池が入っている場所は、ガスの点火をするボタンのすぐ下です。右か左のどちらかに単1の乾電池が2個入っています。通常、乾電池の残量が少なくなると、赤いランプが点灯するようになっています。でも実際、調理している間は、揚げ物用の温度ランプなど、赤いランプには慣れっこになっているので、ついつい見落としがちになります。忙しい夕飯時にガスが点火しないと慌てますので、単1の乾電池は常備しておくようにしておきたいですね。



良い家を予算内で安く実現します。
地域NO1のコストパフォーマンス！
ムダな費用をかけないで自分のために建築費を使う。
ムダゼロの原価建築で良い家を予算内で安く建てよう！
500万円から1000万円良い家が安く建築可能です。